

「希望が芽吹く変化の一年に」

2024 年を迎え、年頭のご挨拶を申し上げます。

はじめに、元日に北陸地方で発生した地震で被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、復旧・復興が進み一日も早く日常が取り戻されることをお祈りいたします。

さて 2023 年は、コロナ禍からの本格的な回復が進み人の動きが活発になりました。東急グループの拠点である渋谷、新たなエンターテインメント施設が誕生した新宿を歩けば、訪日外国人を含めヒトの熱量を肌で感じます。かたやニュースでは生成 AI などテクノロジーの話題を目にしなない日はありません。当社も AI タレントによる CM 制作に着手しましたが、技術革新によりビジネスが大きな転換点にあることを強く実感した一年でした。

そして迎えた 2024 年。「ヒトとテクノロジーの響創的進化」が、大きなテーマになるのではないのでしょうか。

このように激変する社会環境を踏まえ、私たちは 4 月から新たな中期経営計画を始動いたします。お客さまの事業を前進させる“ベストソリューションパートナー”となるべく、高度化する課題に向き合い、「データとクリエイティビティの融合」「デジタルとフィジカル(リアル)の融合」を進めて、成果にこだわる統合ソリューションを提供してまいります。

先行していくつかの取り組みがスタートしており、「データとクリエイティビティの融合」では、データサイエンスに強みを持つパートナーと協業し、脳波に基づく効果的なクリエイティブを追求しています。「デジタルとリアル(フィジカル)の融合」では、“Phygital Advertising Platform”の構築に着手し、生活空間全体で最適化されたプログラマティック広告配信を実現していきます。第一弾のサービスとなる“T-Track”は 2 月にローンチ予定です。

ソリューションを構想し、お客さまに届ける担い手となるのは、ヒトです。当社では「一人ひとりのタレント性を育む」べく、HRX(人材育成変革)を重点戦略に位置づけています。業界に先駆けて副業制度や多様な働き方コースを導入し、個人の価値観とライフスタイルにそってパフォーマンスが発揮できる環境を整えてきました。今後も人事制度やキャリアパス制度などの変革を加速し、私たちの提供価値の源泉であるヒトの可能性を組織的に高めることで、課題解決の品質向上につなげてまいります。

世界は不安定さと不透明さを増していますが、物事の始まりであり、活気あふれる様子を表すといわれる「甲辰(きのえ・たつ)」の今年、ヒトとテクノロジーを響き合わせ、未来への希望が芽吹く提案活動を進めてまいります。皆さまの事業がさらなる発展を遂げる一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

株式会社東急エージェンシー
代表取締役 社長執行役員 高坂 俊之